# 募集対象

|  |  |
| --- | --- |
| 募集区分 | 2025年度先行募集 |
| 申請年次 | 年次 |
| 工学研究科連合農学研究科 | 国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム）2025年4月入学予定者 |

※必ず申請事前登録と同じ内容を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 申請分野 | 申請分野にチェックを入れてください[ ] 未来社会革新加速　[ ] 物質・生命融合　 [ ] 情報・生命・医学融合　[ ] ライフスタイル革命学際　[ ] アジア・環太平洋未来創造　[ ] グローカル課題解決推進　[ ] 学際的基盤研究　 |
| 募集対象区分 | 該当する募集対象区分にチェックを入れてください

|  |  |
| --- | --- |
|  | 2025年度先行募集 |
| 工学研究科連合農学研究科 | [ ] 国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム）2025年4月入学予定者※募集と対象学年、支援期間を募集要項で十分確認すること |

 |
| 氏名 |  | 生年月日 |  |
| 現在の所属・学年（他大学申請者は、大学名から記載） | 　　　　　　大学　　　　研究科　　　　　　専攻　　　　年 |
| 進学予定研究科等(JDPの場合は、JDPにチェックしてください。) | 　　　　　研究科　　　　　　　　　専攻 | [ ] JDPである。(ｼﾞｮｲﾝﾄ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ) |
| 学籍番号（申請時岐阜大学在籍者のみ） | \*現在（申請時）の学籍番号を記入してください |
| 連絡先 | 携帯番号 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 卓越大学院プログラム、博士リーディングプログラム,その他プログラム等の在籍状況（該当者のみ） | 在籍中又は在籍予定のプログラムがある学生は該当箇所にチェックしてください。〇卓越大学院プログラム　[ ] GTR　[ ] DII　[ ] CIBoG　[ ] TMI〇リーディングプログラム　[ ] 実世界〇その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）プログラム名を記載してください。 |
| 支援期間中の奨学金等受給状況 | 支援期間中に下記の奨学金等の受給が、[ ] 決定していない　[ ] 決定している(「決定している」場合は、原則として申請ができません。）・日本学術振興会の特別研究員・国費外国人留学生制度・母国からの奨学金制度 |
| 支援期間中の収入制限への該当の予定 | 収入制限に、[ ] 該当しない　[ ] 該当する（「該当する」の場合は、申請ができません。）※所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（240万円/年）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生は応募できません |

募集要項をよく読み、指導教員ともよく相談して、本支援期間中で実施する研究計画及び目指す研究者像について以下の申請書に明記ください。尚、原則審査には応募者の専門と異なる教員も入ります。専門外の教員にも分かるような内容、表現で記入してください。

|  |
| --- |
| 【研究題名】 |
| 【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**１頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可。10．5ポイント以上の文字で記載すること(以下同様)）(1) 研究の位置づけ博士課程の本支援期間中で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。 |

|  |
| --- |
| 【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**２頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）(2) 研究目的・内容等　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。　④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。　⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。 |

|  |
| --- |
| 【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材を育てることを目的にしています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。　 |

|  |
| --- |
| 【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材を育てることを目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後の**キャリアパス**」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。特に、国際共同研究・融合研究を行うことや、異分野の国内外の多くの人々との接点を持つことを推奨しています。それらへの取組意欲や具体的な活動などについても記載してください。 |